

「第12次福岡市農林業総合計画(平成24年度～平成28年度)」案について

別紙



<位置づけ>

- 本市農林業振興のための施策・事業実施の総合的な指針とする。
- 国及び県等の農林業振興に関する計画と整合性のあるものとする。
- 本市基本計画(マスタープラン)の農林業振興における部門別計画とし、本市の他の部門別計画との連携を図るものとする。

<計画期間>

平成24年度～28年度 (2012年度～2016年度)

農業

<農業を取り巻く情勢>

- 農業構造の変化
農産物価格の下落, 異常気象・家畜伝染病の発生
- 社会情勢や市民意識の変化
農業や環境への関心の高まり, 安全・安心志向の高まり
- 国の動き
東日本大震災の復興状況も踏まえた農林業再生戦略を検討

<福岡市農業の現状と課題>

- 農業従事者の減少 (H17 5,739人→H22 4,563人)
- 稲作が中心の兼業・小規模農家が多い
- 大消費地を擁する特性を活かした都市型農業
- 農畜産物の生産高は年々減少(H16 117億円→H21 105億円)
- 鳥獣による農産物被害が拡大(H22被害額 1.5億円)
- 耕作放棄地が増加(H21 455ha, 農地面積の15.5%)
- 農村地域では人口減少と高齢化が進行
(H22高齢者割合 本市全体 17.2% 本市農家 33.6%)

目標 「豊かな市民生活を支える活力ある農業・農村の振興」

<基本的な振興方向>

- 1 「農業の活力向上」
多様な農業経営の育成と充実, 農地等の保全と活用, 新鮮で安全な農畜産物の提供
- 2 「農村地域の活力向上」
地域資源の活用を通じた農村地域の活性化
- 3 「農業がもたらす豊かさの市民との共有」
農業と環境との調和, 農業と市民との絆の強化

<重点的に取り組む施策>

- 1 「新規就農」を応援します。
相談窓口の設置, 研修の実施, 農地のあっせん など
- 2 「地産地消」や「特産品開発」を支援します。
直売所の情報発信, 市内産農畜産物の特産品開発, ブランド化 など
- 3 「農村地域の活性化」に取り組みます。
コミュニティ活性化の支援, 定住環境整備の検討 など
- 4 「市民と農業のつながり」を深めます。
身近な農業体験の場の充実 など



林業

<林業を取り巻く情勢>

- 林業構造の変化
木材需要の減少, 木材価格の低迷
- 社会情勢や市民意識の変化
森林に対してレクリエーションや野外教育の場としての期待
- 国の動き
木材自給率50%以上を目指す森林・林業再生プランの策定
公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律施行

<福岡市林業の現状と課題>

- 荒廃した人工林(荒廃森林)の増大
(H20推計 1,471ha, 人工林面積の27.4%)
- 森林の持つ多面的機能に対する評価の高まり, ボランティアの増加
- 路網整備の遅れ
(H22林道密度 11.8m/ha 県の目標林道密度 18.0m/ha)
- 林業経営の悪化(生産額 H18 80,761千円→ H22 42,895千円)

目標 「市民生活を支える森林づくりと活力ある林業の振興」

<基本的な振興方向>

- 1 「森林の有する多面的機能の発揮」
森林の保全・再生, 多様で市民に身近な森林づくり
- 2 「林業経営基盤の改善・強化」
生産基盤の整備, 林業経営環境の改善

<重点的に取り組む施策>

- 1 「森林の再生」を推進します。
荒廃森林の再生 など
- 2 「地域産材利用の拡大」に努めます。
地域産材の普及・啓発活動の推進, 公共建築物の木造化・木質化の推進 など

